



本内容に関する問合せ先：
一般財団法人 日本環境衛生センター 管理部広報課
TEL: 044-288-5095, Email: koho@jesc.or.jp

研究活動（環境保全）①

3月23日に公開された学術誌「エアロゾル研究」に環境科学部の高橋部長が執筆した「産業界・エネルギー分野におけるカーボンニュートラルに向けた取り組みと粒子排出特性」が掲載されました。



誌面はコチラ

研究活動（環境保全）②

9月11日～13日に横浜市で開催予定の第65回大気環境学会年会にて、環境科学部及びACAP（アジア大気汚染研究センター）の職員が計14題の発表を行います。



演題等の詳細は、今後学会HPにて公開されます

専門性を生かして －職員による研究・講演－

7月29日に、令和6年度長野廃棄物処理技術研究協議会 北信ブロックし尿部会研修会 定期総会が開催され、環境工学第二部の稲田部長が「し尿処理施設の強靱化と広域化について」と題し、講演を行います。

し尿処理においては、平成22年に環境省より広域化マニュアルが発出され、各地で効率化・低コスト化及び資源循環促進に向けた広域化が求められています。

講演（し尿関係）

7月12日、一般財団法人エネルギー総合工学研究所主催の第441回月例研究会にて、資源循環部の西畑技師が「廃棄物・資源循環分野における脱炭素化の取り組み」と題し、講演を行いました。

廃棄物資源循環分野からのGHG排出の基礎知識、脱炭素化に向けて動いている国のプロジェクトの概要、脱炭素化や資源循環に向けた今後の展望等の解説を行いました。

講演（廃棄物関係）

足かけ4年プロジェクト！

pick up

インド ヴアラナシ市 衛生改善プロジェクト、完結。

詳細は3ページ「その他センターの最新事業」へ



自治体向け情報



受託情報

当センターでは、国・自治体・企業等から様々な業務を受注しております。
今回は最近受注した業務の中で廃棄物関係のものを一部ご紹介します。

業務名	発注元
令和6年度デジタル技術の活用等による脱炭素型資源循環システム創生実証事業委託業務	環境省
令和6年度東北地方ブロックにおける大規模災害に備えた災害廃棄物対策に関する支援等業務	環境省
千葉市新港清掃工場リニューアル整備・運営事業に係る事業者選定アドバイザー業務委託	千葉市

千葉市新港清掃工場リニューアル関連業務については、
廃棄物処理施設整備基本構想から当センターが受託しております。

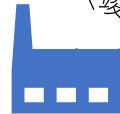
／竣工／

基本構想

基本計画

事業者選定

建設（今後）



※廃棄物関連業務のフロー（当センターHP）より抜粋
<https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/84/Default.aspx>

第38回ペストロギー実習講座

5月29日～31日にかけて、自治体職員及びペストロギー関連事業者を対象とした講習を実施しました。

当センターの生活衛生関連講習の特徴は、**実技演習が豊富**なところです。

本講習では、**当センター東日本支局近隣の公園にて、蚊の採集法を体験できる他、蚊のトラップ設置方法やダニの同定法等を、実技を通して学ぶ**ことができます。



蚊の幼虫の採取



ダニの採取法や同定法に関する講義

令和6年度ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業

自治体と企業が連携した海洋ごみの回収・発生抑制対策等のモデル事業です。
当センターが事務局を務めており、この度4自治体が採択されました。



第68回生活と環境全国大会@横浜 ポスター公開！





その他センターの最新事業



JICA技術協力プロジェクト インド ヴァラナシ市 衛生改善プロジェクト

当センターが共同企業体の一員として4年間に渡り実施した技術支援事業が6月に終了しました。この事業はガンジス川沿いの大都市であるヴァラナシ市の廃棄物管理、上水道及び汚水・排水処理の改善を目指すものであり、当センターは汚水・排水分野を担当しました。

ヴァラナシ市には、2020年に周辺89村が編入されましたが、多くが下水道未整備であり、生活排水がそのまま周辺の川に流され、それらが流入するガンジス川の汚染の一因となっています。状況の改善に向け、地区ごとに生活排水を処理するモデルを構築するため、日本の優れた技術である浄化槽による汚水処理と、し尿汚泥の管理強化をパイロット地区で進めました。

ヴァラナシ市では初の浄化槽設置となり、今後の普及と、それに伴うガンジス川の水質改善が期待されます。



下水道未整備地域の様子
(生活排水の流入で川が汚染されています)



パイロット地区に設置された浄化槽
(順調に稼働しています)

ACAP（アジア大気汚染研究センター）の事業

ACAPでは、東アジアにおける酸性雨・大気汚染のモニタリングや研究を行っています。東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）のネットワークセンターとして、参加国（13ヶ国）へ技術協力を行っています。今回は、参加国を対象とした研修を2つ紹介します。

Technical and Training and capacity building program

期間：5月13日－17日

対象：EANET参加国の大気汚染物質
モニタリング技術者

参加国：インドネシア、ラオス、フィリピン、
ベトナムから各1名

目的：①モニタリングの基礎知識・技術の習得
②データ信頼性のためのQA/QC
（品質管理/品質保証）の習得

特徴：韓国国立環境研究院(NIER)と協力

Fellowship for Building Leadership in Atmospheric Environment and Air Quality Management in East Asia in 2024

期間：7月16日－26日（ACAP）

対象：行政官・研究者

参加国：インドネシア、フィリピン、
ミャンマー、ロシア、マレーシア
から各1名

目的：東アジアの大気環境政策・研究を
リードしていく行政官・研究者を育成

特徴：中国復旦大学との共同実施



お知らせ

講習会・研修会のお申込及び日程確認はこちら

書籍販売はこちら



廃棄物関連



ねずみ・
衛生害虫関連



令和6年版
廃棄物処理法令集
7月末発売！



技術管理者等スキルアップ研修会 福岡市・岡山市 開催決定！

今年度から研修会の構成を3分科会同日開催に変更しました。

ごみ処理関係、最終処分場関係、し尿・汚泥再生処理関係に関して、行政動向や新技術等の情報提供と事例発表を行います。



申込みはこちら！

工作物石綿事前調査者講習 今後の開催予定

期間	会場	締切
8月13日（火）～14日（水）	品川フロントビル（東京都）	7月30日（火）
8月18日（日）～19日（月）	品川フロントビル（東京都）	8月2日（金）

当センターは、本講習の標準テキストの作成も務め、国内初の講習実施機関であり、業界随一の実績を誇ります。全国で講習を承っておりますので、ぜひお問合せ下さい。

評議員・理事の一部変更（6/24より）

当センターは「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づき、組織運営については、外部の立場からご意見をいただく評議員制度をとっております。評議員の方々のご指摘も踏まえ、組織運営を行っていくのが理事になります。

6月24日より、評議員2名退任・5名新任、理事4名退任・3名新任となりました。



名簿はこちら

column

環境測定分析統一精度管理調査

本調査は、国内の環境測定分析の信頼性確保及び精度向上を目的に、昭和50年より実施されています。当センターは、初年度より環境省から委託を受け、事務局として本調査を運営して参りました。

このほど今年度の調査に参加する環境測定分析機関が決定したところです。

約500の参加機関に事務局が用意した指定の試料を分析してもらい、その結果を事務局が集計し、全国の機関にフィードバックすることで、分析能力の維持・向上に寄与しています。

長きに渡り、日本の環境測定分析における縁の下の力持ち的な役割を果たしています。



詳細はこちら